

平成 30 年度 事業報告書

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

平成 30 年度事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)

【報告】

生涯学習センターでは、「さっぽろ市民カレッジ」において、市民の継続的な学びを支援するために、年間を通してシリーズ化した講座を用意するなど、多様な学習機会の提供に努めるとともに、新たに図書館と連携した講座や都心部にオープンした市民交流プラザを会場にした講座を行い、身近な地域で学びを深められる環境づくりに積極的に取り組んだ。また、メディアプラザでは、今年度から開館時間が 2 時間短縮されているが、Chie Terrace(ちえテラス)での絵本の読み聞かせやカレッジサロン(無料講座)などの事業を充実した他、札幌市立図書館の蔵書の貸出・返却の利用者が増加したことなどにより、利用件数は前年度とほぼ同じ水準を維持することができた。

青少年科学館では、常設展示・実演及びプラネタリウム等の運営を行い、市民に対して科学への興味関心を喚起した。夏の特別展では物理実験をテーマに、絵本のキャラクターを会場内の案内人として取り入れ、子どもたちに親しみやすく体験できる工夫を施した。また、特別展期間中はプラネタリウムや工作会、売店商品についても当該キャラクターを関連付け、館全体の一体感を創出した結果、昨年度の入館者数を上回った。また、冬の特別展ではヒトの感覚をテーマに体験型の展示物を設置し、キーワードを集めながら会場内を回るといったゲーム的な要素を取り入れ、楽しみながら学ぶことができる展示となった。

プラネタリウムでは、安定的な運用に注力し、小中学校向けの学習投影では、現場の教員の意見を聞きながら、より学習効果の高い投影を実施した。さらに、現在注目されている小惑星探査機「はやぶさ2」を題材としたプラネタリウム番組の上映や講演会等を開催し、市民の知的好奇心の探究に寄与した。

天体観望では、平成 30 年が地球と火星が大接近する年であり、その時期に合わせて札幌市天文台にて観望会を実施し、多くの来場者に対し火星を観望する機会を提供した。

また、他施設・他団体との連携も図り、館内及び館外において事業を実施し、各施設・団体とのつながりを強化した。

公 1 生涯学習普及振興事業

(定款第 4 条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し生涯にわたる学習活動を総合的に支援するために、生涯学習センターの管理運営を行う。また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

年間を 3 期（4～8 月、9～12 月、1～3 月）に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系をあわせて 281 講座を実施した。市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生（市民講師）の企画・運営による講座や大学・企業とも連携した講座を実施するなど、市民に多様な学習機会を提供した。

さらに、高校生と大人と一緒に学ぶ＜学社融合講座＞では、受講者の世代を超えた交流を図った。

ア 市民活動系

学んだ成果を活動に生かすことができるよう、複数の講座でのつながりづくりを重視し、受講者が講座の中で終了後の活動のイメージを持つことができるなど市民活動の入口を広げる講座を実施した。継続的に学習できる講座として『社会に役立つ仕事カタログ』『心の病をもつ方と学ぶ「働くこと」「活動すること』』など、シリーズ化した講座を実施した。



イ 産業・ビジネス系

企業の社会貢献活動に視点をあてた「ビール工場の歴史と CSR 活動を知ろう」、働いている人が受講しやすい環境を提供するため都心部に新たにオープンした市民交流プラザを会場にした「ビジネスファシリテーション体験」などの講座を実施した。



ウ 文化・教養系

学びから出会う人・こと・ものを目的に、学びを通した仲間づくりのための人気講座「日本の歌をうたおう」や「現代史」などの講座を実施した。

ちえりあ学習ボランティア企画講座では、「なまらいいっしょ！北海道弁」「今も生き続ける北海道の民謡」などを開講し、ご近所先生企画講座では、「はじめてのはちみつ講座」（白石区民センター）「北海道 150 年の埋もれし物語」（豊平館）な

どを開催した。

また、市立札幌大通高校を会場とする学社融合講座では、「世代を超えてみんなで歌おう」や「まちなかで触れるアイヌ文化」などを開講した。

【実績】さっぽろ市民カレッジ講座内訳 (括弧内は前年度実績)

	生涯学習 センター 企画講座	学社融合 講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	講座数計	受講者数計
市民活動系	32 (27)	6 (8)	— (—)	— (—)	38 (35)	564 (564)
産業・ ビジネス系	25 (21)	13 (12)	— (—)	— (—)	38 (33)	501 (494)
文化・ 教養系	22 (48)	12 (14)	15 (16)	156 (152) ※地域会場：33 (35)	205 (230)	3,572 (4,165)
合計	79 (96)	31 (34)	15 (16)	156 (152)	281 (298)	4,637 (5,223)

(※地域会場：区民センター・地区センター等)

(2) 生涯学習関連講座

大学・企業などと連携し、その特性や資源を生かした講座を実施した。また、市民の生涯学習活動を支援するため、行政と連携し、生涯学習センターの持つノウハウを生かした講座を実施した。



ア 大学などとの連携事業

大学と連携し互いの特性を生かした講座を実施した。また、学びを通じた世代間交流、異年齢学習の推進を図った。

【実績】「オリジナルメダルを作ろう」(北海道教育大学) 6名 ほか

イ 行政機関連携講座

生涯学習センターが有する企画・運営のノウハウを生かし、高齢者対象の「東区年輪大学企画運営業務」を受託し、実施した。また、中央図書館主催の「さっぽろ家庭読書フォーラム」に共催し、小中高生の読書推進活動の紹介や、絵本作家による講演会を実施した。

【実績】「東区年輪大学」12回50名 (前年度 15回50名)

「さっぽろ家庭読書フォーラム」1回78名

ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。

【実績】7講座118名 (前年度 7講座103名)

「ビール工場の歴史とCSR活動を知ろう」(アサヒビール(株)) 12名



「子どもラーメン道場」(東洋水産株) 10名

「牛のお話とバターづくり」(雪印メグミルク株) 18名 ほか

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や学会などと連携・協力し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。また、新たに社会福祉法人藻岩この実会と連携し、障がいのある子どもの成長を支援するための講座を実施した。



【実績】6講座69名(前年度 5講座139名)

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

ちえりあの開館(平成12年8月)を記念して、館内の4施設(生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、札幌市教育センター、リサイクルプラザ宮の沢)が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。講座体験や最新科学体験などセンターが有する事業のノウハウを生かしたイベントや、来場機会の少ない若年層の来場を促すための移動動物園、高齢者が楽しめる北海道大学落語研究会口演など、あらゆる世代を網羅したイベントを多数実施した。また、来場者が自由に撮影できるインスタスポットを設置したところ、SNSに投稿されている様子がみられ好評を得た。



【実績】8/26(日)12,080名(前年度 2日間17,989名)

- ・ドローン、VR、AR、ロボットの最先端技術体験
- ・移動動物園、北海道大学落語研究会の口演 ほか

イ ちえりあ映画会

映画に親しむ機会を提供するため、生涯学習センター等が所蔵する多様な映像教材をちえりあホールで上映した。邦画では、ボランティア団体の「ムービー北海道」の協力を得て、目の不自由な人も鑑賞できるよう副音声ガイドサービスを実施した。また学校の長期休業期間には、親子で楽しめる作品を上映した。

【実績】12回3,177名(前年度 30回4,163名)

- 大人向け8回「チップス先生さようなら」ほか
- 子ども向け4回「うごく絵本チルビー」ほか

ウ オペラシアター

世界一流のオペラを鑑賞しながら、それにまつわる幅広い知識や教養を身につけ

るため、生涯学習センター所蔵のDVDの上映と専門家の解説を組合せた講座を実施した。

【実績】8回919名（前年度 6回801名）

「アイダ」「セビリャの理髪師」ほか

エ ゆりかごコンサート

子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きをあまり気にせずに鑑賞できるコンサートを開催した。



【実績】12/18(火) 1公演110組220名（前年度 2公演417組834名）

出演：ジョニー黒田とディキシープリンス

オ CDコンサート

生涯学習センター所蔵の音響機器と視聴覚資料を活用し、良質な音響環境で名演奏に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出CDの利用促進を図った。

【実績】12回469名（前年度 30回436名）

「津軽三味線 高橋竹山のすべて」「NORTH BIRD/寺久保エレナ」ほか

カ 北海道吹奏楽フェスティバル（共催：北海道吹奏楽プロジェクト）

若手プロ奏者たちによる演奏会にあわせて、小・中学校、高校、大学の吹奏楽部に公開レッスンを行うレクチャーコンサートを開催し、吹奏楽活動の支援と普及を図った。

【実績】3公演940名（前年度 3公演1,017名）

参加校20校（前年度 15校）

キ カルチャーナイト（主催：カルチャーナイト実行委員会）

夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に参加し、市立札幌開成中等教育学校生と連携し「遊んで学ぼう！コーヒーフィルターで作るパラシュートの秘密」、1階ロビーでは、子ども向けイベントとして「昔遊び」を開催した。

【実績】1回115名（前年度 1回149名）

「遊んで学ぼう！コーヒーフィルターで作るパラシュートの秘密」50名

「昔遊びにチャレンジ。メンコ名人登場！」65名

ク 市民交流スペース「ちえテラス」運営

ブックカフェスタイルに改修した生涯学習支援スペース「(愛称) Chie Terrace (ちえテラス)」で、メディアプラザ司書やボランティアによる絵本の読み聞かせや、市民カレッジの無料講座カレッジサロン、またオープン2周年記念の音楽コンサートや落語会などを行った。市民が生涯にわたって学び続けることができるように、

多種多様な学習環境をつくり、より効果的な活用・交流ができる場を提供した。

- 【実績】読み聞かせ12回416名（前年度 12回411名）
- コンサート2回40名（新規）
- 落語会1回10名（新規）
- カレッジサロン4回31名（前年度 3回35名）

(4) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体に学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

【実績】観覧者 2,110名

 作品展示 11/17(土)～23(金)参加者17団体

 舞台発表 11/20(火)～22(木)参加者67団体

（前年度 観覧者1,648名

 展示：参加者19団体 舞台：参加者61団体）



イ ロビーコンサート

市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に演奏を気軽に聴いてもらう機会を提供した。

【実績】8回参加者8団体、来場者905名

（前年度 12回参加者12団体、来場者1,274名）

ウ ロビー展示

ロビー及びギャラリー等でさっぽろ市民カレッジのパネル展などを行い、市民の学習意欲向上のための広報の場として活用した。

【実績】8件（前年度 12件）

2 学習支援者活用・育成事業

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業（ご近所先生）

ご近所先生企画講座の講師を対象に、講師としての資質向上とスキルアップを目的とした研修会および学び合いによる講師同士の研鑽や情報交換を目的とした交流会を実施した。

交流会では前年度に引き続き実施した2名の講師による模擬講座がきっかけとな



り、その後のフリータイムや懇親会において、講師同士の活発な交流を生むことができた。

【実績】 研修会4回136名 交流会1回26名

(前年度 研修会4回129名 交流会1回37名)

イ 生涯学習ボランティア育成事業

(a) ちえりあ学習ボランティア

さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営など行う「ちえりあ学習ボランティア」に、活動の場と知識やノウハウを実践的に学ぶ機会を提供した。



【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者数49名 (前年度 47名)

(b) メディアボランティア・オンデマンド

16ミリ映写機の映写技術を継承し、市民の学習活動や地域活動で16ミリフィルムを利用できるようにするための「16ミリフィルム上映体験講習会」を実施し、講師役となる「オンデマンド」の活動を支援した。今年度は、夏休み期間中に親子向けの体験講習会、秋に大人向けの講習会を実施し、受講者から好評を得た。

【実績】「オンデマンド」登録者数4名 (前年度 4名)

7/29(日)16ミリフィルム上映体験講習会 親子3組7名

(前年度 7/30(日)親子5組10名)

11/25(日)16ミリフィルム上映体験講習会2名

(前年度 11/26(日) 3名)

ウ 職場体験などの受入れ

職場体験学習やインターンシップなどを受入れ、講座の企画・立案や運営など、生涯学習に係る職業体験の場を提供した。また、施設見学視察対応も依頼があった際に随時行った。

【実績】 職業体験6校21名 (前年度 7校33名)

手稲東中学校4名、札幌市立豊明高等支援学校1名、札幌市立大学1名、
札幌英藍高等学校6名、札幌琴似工業学校6名、稲積中学校3名

エ 生涯学習関連施設職員研修事業

区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援を担う施設職員の資質向上を図るため、接客術をテーマに研修を行った。事前アンケートで共通の悩みを抱えていることが分かったことから、グループワークを多めに取り入れ、情報交換の場としての役割も果たした。公共施設の利用が多い高齢者への対応も盛り込んだことで、実情に合わせた研修を行うことができた。

【実績】 2回25施設58名 (前年度 2回20施設35名)

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用推進事業

さっぽろ市民カレッジ受講修了者に対して、学んだ成果を生かしてもらうため、生涯学習センター事業や地域での活動の場を提供し、支援を行った。

(a) ちえりあビデオクルー

センター事業や他団体による地域の活動・行事などのビデオ撮影・編集を依頼した。映像作品をYouTubeに公開したり、主催者に提供したりすることで、地域活動のPRに生かしている。

【実績】登録者数20名（前年度 20名）

(b) 市民ファシリテーター

市民ファシリテーター養成講座の受講修了者を対象に、同講座の企画から運営までをサポートしてもらうことで、講座内容の充実を図るとともに、自身の学びを深めてもらう機会を提供した。

【実績】登録者数4名（前年度 3名）

(c) コーラスボランティア

「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。

【実績】登録者数「コスモス」4名、「プリティボイス」22名

（前年度 「コスモス」13名、「プリティボイス」19名）

(d) カメラボランティア

カメラボランティア講座修了者によるサークルに生涯学習センター事業の写真を撮影してもらい、広報誌や事業概要などに活用した。また、カメラボランティアの活動を広く市民に知ってもらうきっかけとして、ロビーでの活動展を行った。

【実績】登録者数「ハピネス」3名、「you快」5名、「トレトレ」10名

（前年度 「ハピネス」8名、「you快」6名、「トレトレ」9名）

3 生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

【実績】貸室利用件数14,803件 利用率81.7%

（前年度 貸室利用件数14,820件 利用率82.4%）

イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビー・ギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

【実績】ロビー利用件数25回（前年度 31回）

ギャラリー利用件数16件（前年度 12件）

ウ 学習のための施設開放

施設を弾力的に活用し、大研修室などの空き室を学習の場として開放した。

当日までに利用申込みの無かった貸室を学習の場として開放するなど有効活用に努めるとともに、施設開放の実施状況をホームページに掲載し、利用者の利便性向上を図った。また、学生の長期休業期間以外でも、利用状況に応じた空き室の開放を行うなど、弾力的な運営を行い、利用者のニーズに応えた。

【実績】夏季期間中（7/19(木)～8/17(金)）10日間277名（前年度 10日間68名）

冬季期間中（12/20(木)～3/15(金)）35日間963名（前年度 37日間325名）

エ 公共目的事業の共催

市民によるまちづくり活動の一環として催された映画上映会など、外部団体による生涯学習に係る事業で、当財団の公益目的事業の主旨に沿うものについて共催し、使用料の減免や広報などの支援や協力を行った。

【実績】共催事業3件（前年度 2件）

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

メディアプラザでの学習相談をはじめ、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を配布した。

【実績】メディアプラザ学習相談16,240件（前年度 12,389件）

ちえりあ市民講師バンク登録者数295名（前年度 191名）

サークル登録172件（前年度 168件）

イ 広報誌の発行

生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設を中心に配布した。また、地下歩行空間で広報誌の配布イベントを実施することで多くの方に入手してもらう機会を増やした。

【実績】6回発行 各12,000部（前年度 8回発行 各12,000部）

ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、生涯学習センターの事業を紹介した。

【実績】ホームページアクセス数1,002,087件（前年度 1,039,230件）

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

行政機関、高等教育機関、カルチャーセンター、NPOなど、市民向けの学習機会を提供している施設の特徴や主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報 大人の学び場MAP」を発行し、市内の公共施設等で配布した。

【実績】2回発行 各6,000部（前年度 2回発行 各6,000部）

オ 「子どもの学びガイド」の発行

小学校の夏休み前と冬休み前に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、市立小学校の全児童に配布して、児童と保護者に情報提供を行った。

【実績】4回発行 各93,000部（前年度 4回発行 各93,000部）

カ 調査研究事業

札幌市図書館との連携講座5講座（うちご近所先生企画講座3講座、職員企画講座2講座）において、受講者を対象としたアンケートや図書館職員への聞き取りを行った。また、全国の先行事例の情報収集を行い、報告書『生涯学習センターと図書館が連携して行う学習機会提供事業のより良いあり方について』にまとめた。

キ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 生涯学習センター運営協議会

利用者の代表や学識経験者などによる協議会を開催した。当センターの事業を検証するとともに、委員からの意見や提言を今後の管理運営の改善に生かすよう検討した。

【実績】3回実施（前年度 3回）

(b) 利用者アンケートの実施

センター利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを実施した。市民から寄せられる意見をもとに施設設備の改善や当センターの管理運営に生かすよう検討し、メディアプラザ及び2階センター事務室においてアンケートに寄せられた意見等に対する回答を掲示する。総合満足度は要求水準の満足度80%を上回った。

【実績】回収数522枚（前年度 560枚）

総合満足度82.3%（前年度81.7%）

(3) 図書及び視聴覚教材の閲覧・貸出、資料収集並びに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

市民の調べ学習に役立つ図書及び視聴覚教材（音楽・映像）を収集し、図書閲覧・貸出し、音楽CD（約1万2千点）の鑑賞・貸出しなどを行うとともに、資料を探すための相談（レファレンス）サービスを通じて学習活



動の支援を行った。

【実績】 来場者数200,239名（前年度 224,371名）

(a) 図書閲覧・貸出

利用者の幅広い調べ学習を支援するため、蔵書約2万5千冊を閲覧及び貸出しに供するとともに、市内の他の図書館・図書室との相互の取り次ぎサービスに対応した。また、図書を活用した生涯学習に取り組むきっかけを作るため、資料を探すため、レファレンス業務を行うなど、所蔵資料や職員の専門性を生かした事業を展開した。

【実績】 図書・CD貸出数73,906点（前年度 76,565点）

(b) 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽資料のほか、映像資料、語学教材など約3万点の資料の提供を行った。音楽CDは、館内で鑑賞できるほか館外貸出しにも供する。特集展示やイベントも実施して各種資料の周知と利用促進を図った。



【実績】 <館内貸出> 音楽教材899件（前年度 1,399件）

映像教材3,953件（前年度 3,906件）

語学0件（前年度 4件）

<館外貸出> 図書・CD貸出数73,906点（再掲）

（前年度 76,565点）

イ 視聴覚センター管理運営事業

札幌市からの委託により、視聴覚教育の推進と市民団体や学校などへの学習支援を行うことを目的に、視聴覚センターの管理運営を行った。

(a) 視聴覚教材の貸出

市内の学校、町内会やサークルなどに、16ミリフィルム・ビデオ・DVDの貸出しを行った。また、貸出しと並行して、自主制作教材はデジタルアーカイブ化して、視聴覚センターホームページから自由に閲覧、利用できるようにしている。

【実績】 教材貸出数1,233本（前年度 1,711本）

機材貸出数151台（前年度 171台）

デジタルアーカイブスアクセス数94,781件（前年度 111,448件）

(b) 学習教材の制作

学校教育関係者と連携協力し、学習指導要領に沿い、地域に密着した内容の教材を制作した。

【実績】 3本（前年度 3本）

(c) 視聴覚操作技術等講習会

① **ビデオ制作ワークショップ**

自主制作教材の制作技術の向上を図るため、教職員を対象に夏休み・冬休み期間中にワークショップを実施した。

【実績】 4回27名（前年度 4回44名）

② **中学校校内放送コンテスト**

札幌市中学校放送教育研究会との共催で、中学校放送局員が制作した番組とアナウンスのコンテストを開催した。

【実績】 7/15(日) 参加校11校40名（前年度 1回11校36名）

③ **中学校校内放送技術講習会**

札幌市中学校放送教育研究会と共催で、中学校放送局員の技術向上を図るための講習会を実施した。

【実績】 2回16校55名（前年度 2回16校57名）

II 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

4 科学及び科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(a) 日曜実験室

小中学生を対象に、身近な題材や現象を取入れた実験教室を日曜・祝日に実施した。

【実績】65回795名（前年度 64回689名）

4月～6月「洗剤の科学「汚れを撃退！

洗剤の潜在パワーを探る」16回 206名

7月～10月「生き物はすごい～見てびっくり触れ

て感激、これであなたも生物博士～」22回 268名

11月～2月「くっつくだけじゃない!!磁石の不思議な力」21回 254名

3月「のぞいてみよう！植物の世界」6回 67名



(b) サイエンジャー科学教室

小中学生を対象に、テーマや実演方法を工夫した工作・実験教室などを実施した。また、連続講座を実施するなど、学習内容を深める取組みを行った。

【実績】19回362名（前年度 19回310名）

	日程	タイトル	連携先・講師	受講者
1	6/16(土)	AMラジオをつくろう！	日本無線株式会社北海道支社	62
2	6/30(土)	メカトロ教室「走れ！ロボットカー」	一般社団法人日本機械学会	28
3	7/26(水)	静電気のヒミツ～こすってはなれてくっついて～	北海道小学校理科研究会	25
4	7/26(水)	静電気のヒミツ～こすってはなれてくっついて～	北海道小学校理科研究会	19
5	7/27(木)	静電気のヒミツ～こすってはなれてくっついて～	北海道小学校理科研究会	10
6	7/27(木)	静電気のヒミツ～こすってはなれてくっついて～	北海道小学校理科研究会	7
7	8/2(木)	KidsVenture プログラム教室	さくらインターネット株式会社 ビットスター株式会社 株式会社ナチュラルスタイル 株式会社 jig.jp アイティーエム株式会社	15
8	8/9(木)～ 8/10(金)	サイエンスラボ 顕微鏡で大研究	青少年科学館職員	9
9	9/1(土)	ROBOLABプログラム教室	IBM 株式会社	38

10	9/30(日)	自分の手で、携帯電話を分解しよう！	KDDI 株式会社	20
11	11/25(日)	ヒグマの科学	CISE ネットワーク	16
12	1/17(木)	不思議！？空気の力を確かめてみた！	北海道小学校理科研究会	17
13	1/17(木)	不思議！？空気の力を確かめてみた！	北海道小学校理科研究会	7
14	1/18(金)	不思議！？空気の力を確かめてみた！	北海道小学校理科研究会	21
15	1/18(金)	不思議！？空気の力を確かめてみた！	北海道小学校理科研究会	4
16	2/2(土)	恐竜の科学	CISE ネットワーク	16
17	2/9(土)	トライサイエンス	IBM 株式会社	20
18	2/9(土)	トライサイエンス	IBM 株式会社	20
19	3/3(日)	サイエンスラボ パスタで橋づくりにチャレンジ	青少年科学館職員	8
計				362

(c) 科学館の工作室

＜小中学生向け＞

工作を通して科学原理の理解を深める機会を提供するため、主に小中学生を対象に、工作教室を実施した。

【実績】162回1,579名（前年度 158回1,415名）

＜夏休み工作会＞

小中学生を対象に、自由研究等に活かせるような工作会を実施した。

【実績】12日間48回980名（前年度 12日間48回736名）

7/28(土)～7/31(火)、8/4(土)～8/7(火)、8/11(水)～8/14(火)

「おぼけのマ〜ルとどうぶつルーレット」、「がんばれサーモン」

＜冬休み工作会＞

小中学生を対象に、自由研究等に活かせるような工作会を実施した。

【実績】8日間32回464名（前年度 8日間32回596名）

1/5(土)～1/8(火)、1/12(土)～1/15(火)

「猪突猛進！プルバックイノシシカー」、「くるくるフィギュアスケート」

＜アイデアをカタチにする工作会＞

小中学生とその保護者を対象に、親子で参加する工作会を実施した。3つの題材から1つ選び、デザインや機構を自分たちで創意工夫していく内容で実施した。



【実績】5日間10回67組134名

(d) 大人のための天文教室

この夏大接近！火星講座

今年注目の天文現象を取り上げた「この夏大接近！火星講座」を実施した。応

募者多数で抽選になり、市民の関心の高さが伺えるものとなった。

【実績】2回61名（新規）

「この夏大接近！火星講座」2回61名（新規）

「やさしく学ぶ星空教室」1回22名（前年度 2回54名）

「くわしく学ぶ星空教室」1回23名（前年度 2回47名）

(e) 親子天文教室

望遠鏡の工作を通して、望遠鏡の仕組みや天文についての基礎知識を伝えることができた。



【実績】7/20(金)～7/22(日)

「手づくりの望遠鏡で星空を見よう！」

3回48組129名（前年度 3回47組123名）

1/12(土)～1/14(月・祝)「光るお誕生日星座ボックスを作ろう」

3回46組128名（前年度 2回59組141名）

(f) 宇宙セミナー

小惑星探査機「はやぶさ2」が目標天体リュウグウに到着したことを受け、専門家2名による講演を行った。

【実績】1月26日(土)「はやぶさ2講演会」

1回147名（前年度 1回64名）

(g) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、常設展示では補えない最新の科学研究について紹介する講演会を実施した。



【実績】2回220名（前年度 2回223名）

8/19(日) 山崎直子宇宙飛行士特別講演会

「今も昔もかわらない、宇宙へのあこがれ！

～先人たちの宇宙への挑戦と宇宙開発の今～」152名

2/24(日)「スマートスピーカーから学ぶ音声科学」68名

講師：北海道大学情報科学研究科助教授 青木直史氏

(h) 大学生による科学教室

大学生が講師を務める小学生対象の科学教室を開催した。

【実績】2回37名

2/16(土)「大学生が教えるロボット相撲講座！」(北海道科学大学)25名

2/23(土)「さぐってみよう！電気のはたらき」(千歳科学技術大学)12名

イ 出前イベント

(a) 移動科学館

地理的・時間的に来館困難な小学校へ出向き、理科授業支援のため、学習指導要領を踏まえた内容のサイエンスショーを行った。

【実績】2校136名（前年度 6校317名）

10/12(金)稲穂小学校 「すごいぞ！空気！」 90名

11/2(金)前田小学校 「すごいぞ！空気！」 46名

(b) 移動天文台

学校や町内会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣して、望遠鏡等での天体観測や星空解説等を行う観望会を実施した。

【実績】申込46団体 天体観望回実施27団体 屋内実施7団体 中止12団体

参加者2,723名（前年度 2,525名）

(c) 移動プラネタリウム

地理的・時間的に来館困難な小学校などへ出向き、移動式のプラネタリウムを利用した学習投影を行った。また、幼稚園やその他アウトリーチ活動に活用した。

【実績】幼稚園5園11回339名（前年度 5園13回409名）

小学校9校15回547名（前年度 9校14回336名）

中学校5校16回541名（前年度 5校25回773名）

ウ その他科学普及に関する事業

(a) 科学クラブ運営

リピーターの拡大を図るため、小中学生を対象に会員を募り実験教室などを行った。また、会員向けのメールマガジンの発行や各種イベントへの参加回数に応じポイント特典を付与し、所定のポイント取得限定の特典イベントを実施した。



【実績】会員74名（新規42名、更新32名）

（前年度 会員84名（新規40名、更新44名））

	日程	内容	参加者
1	5/12(土)	入会式	44名
2	6/9(土)	あじさい祭り「博士のわくわく天文講座」	50名
3	7/8(日)	夏の特別展バックヤードツアー	49名
4	8/9(土)	生き物探検隊！in 青少年科学館	29名
5	8/9(土)	生き物探検隊！in 青少年科学館	7名
6	9/8(土)	生き物探検隊！in 円山動物園	震災中止
7	10/13(土)	タマネギ博士による涙の出ないタマネギ講座	28名
8	11/10(土)	ビルの化石見学ツアー	25名
9	12/8(土)	展示物ポスター作り	21名
10	12/22(土)	冬の特別展バックヤードツアー	31名

11	1/26(土)	しゅわしゅわバスボム作り	23名
12	3/2(土)	めざせ！バランスマスター・閉会式	33名
13	3/2(土)他	20枚目シール取得者限定イベント（ちょびっとサイエンス体験）	17名

(b) 職場体験などの受入れ

児童・生徒の総合的な学習や学生の自主研修などへの支援として、実習生を受入れ指導した。

【実績】5校18名（前年度 13校47名）

(c) 実験実習セット貸出し及び制作

学校での効果的な授業作りに役立つ実験・実習セットを貸出すとともに、観察資料用の微小生物を提供した。

【実績】貸出し25団体79セット（前年度 貸出し22団体85セット）

(d) 教員研修

小学校新任教員が専門的な力量を高め、幅広い知見を得られるように科学への心構えからはじめ、物理・化学・生物・地学の基本的な実験実習を行った。また、その他の研修の受入れも行い、今年度は中学校理科教員対象の研修も行った。

【実績】10回267名（前年度 8回152名）

(e) 博物館実習等の受入れ

大学からの依頼により、学芸員の資格取得のための博物館実習生を受入れ、指導した。また、大学の図書館司書を育成する課程を受入れ、当館の科学技術資料の整理を行った。

【実績】7/30(金) 博物館実習の見学実習 31名（北海道大学）

6/23(金)、8/6(月)～8/10(金) 図書館基礎持論の実務体験プログラム
8名（藤女子大学）

9/4(金)～9/15(日) 博物館実習 4校4名（前年度 3校4名）

エ 共催事業・協力事業

(a) 宇宙の日 作文・絵画コンテスト

「宇宙の日（9月12日）」を記念して、（一財）日本宇宙フォーラムなどと共催で、青少年の科学技術や宇宙開発への興味、関心を喚起した。

【実績】作文：小学校2名、中学校1名

（前年度 小学校9名、中学校3名）

絵画：小学校46名、中学校13名

（前年度 小学校135名、中学校14名）

(b) 札幌市創意くふう作品展

小中学生の自由研究などの審査及び作品展示の会場提供を行った。

【実績】9/22(土)～9/23(日) 展示 90 点 (前年度 展示 83 点)

(c) 北海道青少年科学技術振興作品展

道内の小中学生が自由研究などで制作した作品の展示（入選作品）とその表彰式の会場を提供した。

【実績】12/1(土)～12/2(日) 展示 126 点 (前年度 展示 125 点)

(d) 夏休み天体観望会（共催：(公財)さっぽろ青少年女性活動協会）

光害の影響を受けない定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群が多く流れる時期に天体観望を実施した。

【実績】8/12(日)128 名 (前年度 75 名)

(e) さっぽろ星まつり（共催：さとみらいプロジェクトグループ）

市民の天文への興味、関心を高めるために、サッポロさとらんどを会場に天体観望会や星に関するゲームを行った。



【実績】9/29(土)～9/30(日) 2 日間 3,700 名

(前年度 2 日間 3,500 名)

(f) サッポロシティジャズ×コスモシアター

(共催：サッポロシティジャズ実行委員会)

札幌市民交流プラザにおいて、普段来館いただけていない市民の天文への興味、関心を高めるため、移動プラネタリウムでの星空解説と、ジャズの音源に合わせた映像演出によるイベントを実施した。

【実績】12/17(月)～12/18(火) 2 日間 8 回 130 名 (新規)

(g) 他団体との連携による科学教室

企業や研究団体と連携し、通常では実施が困難な専門的な内容の科学教室や他施設において当館のPRなどを行った。

【実績】22回28,058名 (前年度 35回35,401名)

	日程	名称	形態・連携先	参加者数	備考
1	4/22(日)	余市宇宙記念館開館 20 周年記念特別開館	余市宇宙記念館	120	余市宇宙記念館
2	7/3(火)	平成 30 年度第 1 回北海道地域学校協働活動推進協議会	北海道石狩教育局ほか	52	石狩教育局
3	7/14(土)～7/15(日)	地域プロジェクト演習「風の踊りをみてみよう！」	札幌市立大学	2629	
4	8/7(火)	親子工場見学会	一般社団法人セメント協会	20 組 40 名	室蘭セメント工場
5	8/26(日)	地域プロジェクト演習「感染症予防ボードゲームであそぼう！」	札幌市立大学	50	
6	9/1(土)～9/2(日)	ミュージアムキッズ全国フェア in Kyoto 2018	ミュージアムキッズ全国フェア実行委員会	9000	京都市
7	10/6(土)	ジオ・フェスティバル in Sapporo 2018	ジオ・フェスティバル実行委員会	1010	

8	10/7(日)	かるちやる光の広場イベント	かるちやる net	976	サンピアザ
9	10/7(日)～ 10/8(月・祝)	サイエン Z00	札幌市円山動物園	7435	円山動物園
10	10/8(月・祝)	啓成 SSH in 光の広場	北海道札幌啓成高等学校他	1000	サンピアザ
11	10/28(日)	サイエンス厚別	厚別区 PTA 連合会	2543	
12	11/3(土・祝)	宇宙ふれあいデイ	余市宇宙記念館	131	余市宇宙記念館
13	11/4(日)	科学大実験	北海道科学大学	171	
14	11/10(土)	ロボット教室スカベンジャー	北海道大学学生サークル ロボットアーティテクト	4組 9名	
15	11/17(土)～ 11/18(日)	第4回マイコンレーサー北海道大会	北海道ロボット教育推進会	12	
16	11/24(土)	ふしぎ★おどろき！サイエンスキッズ	札幌市子ども会育成連合会	50	
17	12/9(日)	科学の祭典 in 石狩	科学の祭典 in 石狩実行委員会	120	石狩市民図書館
18	12/15(土)、 1/19(土)、 2/16(土)	ドーム映像制作ワークショップ～ドームって、おもしろい！～	札幌市観光文化局、クリプトン・フューチャー・メディア(株)	14	
19	1/13(日)～ 1/14(月・祝)	CISE サイエンス・フェスティバル 体験ミニステージ	CISE ネットワーク	1908	北海道大学総合博物館
20	1/26(土)～ 27(日)	新さっぽろ冬まつり	新さっぽろ冬まつり実行委員会	380	
21	2/16(土)～ 2/17(日)、 2/23(土)～ 2/24(日)	メディアアーツ事業プログラミング教室 ・ TapBehavior でスクリーンを飛び出した体験をつくろう！ (3教室) ・ chigoJam であそぼう！オリジナルゲームづくり (6教室) ・ ハートの基盤でルーレット～相性診断ゲームをつくってみよう！～ (3教室)	札幌市観光文化局	108	
22	3/8(金)～ 3/9(土)	北海道インターナショナルサイエンスフェア	北海道札幌啓成高等学校	300	

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文ボランティア養成講座

天文指導に興味・関心を持つ学生や一般市民を対象に、天体観望の初歩的な手法や星空案内方法などを取り上げ、身近な人への天文普及を行える程度の能力を身につける機会を提供した。

【実績】講座6回 参加者21名 登録希望者13名 新規登録者6名

(前年度 講座10回 参加者24名 登録希望者16名 新規登録者10名)

イ 天文指導員の養成

継続登録者に加え、天文ボランティア養成講座の修了者から希望者を募り、定期研修や天文事業への参加機会を提供して天文普及の一翼を担う人材を養成した。

【実績】登録者数39名（新規6名）（前年度 登録者数36名 新規10名）

ウ 展示解説ボランティア等の養成

当館元職員（教員OB）に協力いただき、試行的に導入した。展示解説（夏の特別展の展示物解説）と自由研究の学習相談会の活動を行った。今後、本格的な導入に向けた課題の洗い出しや活動のあり方を検討していく。

【実績】登録者数3名

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(a) 科学技術に関する資料の収集

展示物の解説や更新・改良の基礎資料として、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。職員の参考資料にするとともに、科学系雑誌などは、学習コーナーに配置し、来館者が閲覧できるようにした。

(b) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、自ら撮影した、天体写真などの資料を1階エントランスにて掲示した。なお、撮影した天体写真はインターネットを通じて公開した。



【実績】4月金星、7月火星、9月停電時の星空、中秋の名月とテレビ塔、12月ウィルタネン彗星、ふたご座流星群、1月部分日食など

イ 科学情報の提供・学習支援

(a) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレット「星空散歩」を発行し、地下鉄駅構内や市内公共施設などに配架した。

【実績】6回発行（4月、6月、8月、10月、12月、2月）計44,500部発行
（前年度 5回38,500部）

(b) 天文相談コーナーの運営

来館者からの天文に関する質問対応の他、天体望遠鏡などを用いた実演で来館者へ向けた天文普及活動を実施する。

【実績】7回 447名（冬の特別展期間中、指導員による実演）

(c) ホームページによる学習支援・情報発信

科学館ホームページに科学トピックスや学習支援のためのワークシートなどを掲載し、最新情報の提供や学習の支援を行った。

【実績】ホームページアクセス数332,911件（前年度 293,618件）

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(a) 常設展示

見て、触れて、考えるをテーマに、天文・地球科学、北方圏、電気、力学などの各コーナーの展示物をより楽しく理解しやすくするよう努め、来館者に科学への興味・関心を深めてもらった。

また、大人の方に展示室をより楽しむための講座「科学館を楽しむ方法講座」を実施した。

【実績】2回20名

7/7(土)5名、12/15(土)15名(新規)

(b) 展示実演等

① サイエンスショー

来館者とのコミュニケーションを図りながら科学への興味・関心を深めてもらえるよう、不思議な現象の紹介や楽しい実験などの実演ショーを行った。



【実績】737回20,031名(前年度 745回19,555名)

4月 かんかくをかがくするサイエンスショー

「体のセンサー 不思議で、へんさー！」 62回1,279名

5～8月 物体の運動に関するサイエンスショー

～止まって 動いて 大慣性～ 288回8,591名

9～12月 家庭でできるサイエンスショー

「いろいろいろいろ ほかにもいろいろ」 201回5,359名

1月～3月「おと おっと おととと！音の大実験」186回4,802名

② ロボットショー

コミュニケーションロボット「PALRO」、サッカーロボットの实演を行い、ロボットとの対話やロボットの動きなどを楽しんでもらった。

【実績】2回/日

③ テレビスタジオ

クロマキーなどテレビ番組で使われている特殊効果を紹介するとともに実際に撮影体験してもらう参加型の実演を行った。

【実績】3回/日

④ 低温展示室公開

札幌市の真冬と同じ気温である -10°C の部屋にて、南極の氷や流氷などの展示を行った。

【実績】3回/日

⑤ ちょびっとサイエンス

展示室の入口で、簡単な科学体験や実演を行った。
なお今年度から定期化（毎月第2、第4土曜日に実施）を図った。



【実績】58回3,424名（前年度 38回4,238名）

⑥ スペシャルサイエンスショー「あなたの予想はどっち！？落ちる！浮く！びっくり大実験」

ゴールデンウィーク限定のサイエンスショーを実施した。

【実績】4回480名

(c) 実験・実習への協力

市内の小学校を対象に、「サイエンスホール」で、4年生向けに「空気」に関する実験を行った。また、札幌市教育委員会と連携し、小中学校が展示物を活用した理科授業を行うプログラムの試行実施を行った。

【実績】学習サイエンスショー 37校43回3,240名

（前年度 9校11回850名）

環境学習プログラム 1校57名

理科授業プログラム 6校636名（新規）

幼児のための学習サイエンスショー 9園3回306名

（前年度 4園2回72名）

イ 特別展等

(a) 特別展

夏休みや冬休みなどの期間に、話題性の高いテーマや特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示中心の特別展を開催した。夏は「やってみたくなる物理実験」をテーマに、絵本の「おばけのマ〜ル」と連携した特別展を開催。キャラクターを会場全体のデザインに取り入れたことで、難しいイメージがある物理実験に親しみを感じながら楽しんでいただけた。プラネタリウム番組や工作の題材、売店商品等の他の事業との連携も図ったことで、昨年度を超える入館者数となった。



冬は、「感覚」をテーマに、自分たちの感覚には思い込みや曖昧な点があることを体験的に学び、身近にも科学の不思議が満ちあふれていることを実感する特別展を開催した。

【実績】7/21(土)～8/19(日)「おばけのマ〜ルとふしぎながくじっけん」

30日間45,998名（前年度 30日間43,076名）

1/5(土)～1/20(日)「カンカクをとぎすませ！」

～ブラックサイエンジャーからの挑戦～

16日間12,981名（前年度 17日間31,030名）

(b) 環境科学展

市内等の企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状など、体験的に学べるイベントを開催した。

【実績】10/20(土)～10/21(日) 出展12団体2,165名

(前年度 出展11団体2,491名)

(c) 巡回展

春休み期間中に、全国科学館連携協議会で制作した展示物を借用・展示し、来館者の科学に対する興味・関心を喚起した。

【実績】「星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～」

3/23(土)～4/7(日) 16日間17,596名



ウ 科学教室

(a) 中高生によるサイエンス広場

子どもたちが多様な科学実験を体験できるよう、中学校や高校の科学部を主体とした団体の科学体験ブースを多数展開したイベントを開催した。

【実績】12/1(土) 5校59名（前年度 7校89名）

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影・解説

(a) 一般投影

職員が、各回の観望者の年齢層にあわせた内容や話し方を工夫した生解説を行うなど、観望者に分かりやすく星座や天文知識を紹介した。

【実績】1,365回88,872名（前年度 1,388回97,822名）

(b) 学習投影

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影を行った。

【実績】174回18,145名（前年度 143回19,934名）

(c) オート番組制作

一般投影時に用いるプラネタリウムオート番組（ドーム全体に投影されるアニメーション動画）を制作・購入する。

【実績】「星の旅 -世界編-」購入：平成31年3月～令和2年2月まで上映

「HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-」購入：平成31年1月上映

一般向けオリジナルオート番組「科学戦隊サイエンジャーと星空散歩」

製作：令和元年7月から上映予定

イ プラネタリウム特別投影

(a) 特別投影

地球への大接近が話題となった火星を取り上げた専門性の高い投影や、親子向けに謎解きプラネ、プラネタリウムでのコンサート等を実施し好評を得た。



【実績】8回1,279名（前年度 7回1,023名）

7/14(土)「レッド・プラネット～火星大接近に迫る!～」 163名

7/15(日)「レッド・プラネット～火星大接近に迫る!～」 131名

※応募多数のため臨時上映

8/4(土)「謎解きプラネ 夏休み特別編」 182名

8/5(日)「謎解きプラネ 夏休み特別編」 118名

10/12(金)「VRドームムービーセレクション&
プラネタリウムライブ2018」 160名

10/13(土)「VRドームムービーセレクション&
プラネタリウムライブ2018」 166名

2/9(土)中垣哲也オーロラ投影&トークショー 186名

2/10(日)中垣哲也オーロラ投影&トークショー 173名

(b) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な人も理解できるよう、字幕付きの投影を行った。

【実績】11/9(金)～11/10(土)、3/1(金)～3/2(土) 4回166名

(前年度 4回242名)

(c) キッズプラネタリウム

未就学児とその保護者を対象に、プラネタリウムの投影を行った。

【実績】4回723名（前年度 4回440名）

(d) プラネタリウム祭り

プラネタリウム内で絵本の読み聞かせなど子ども向け企画のほか、女流棋士をゲストに迎えた投影や、北海道と命名された150年前の星空を紹介する回を設け、科学以外のジャンルと組合わせた新たな切り口の企画を実施した。

【実績】12/1(土)～12/2(日)、12/8(土)～12/9(日) 4日間2,679名

(前年度 4日間3,140名)

ウ 天体観望事業

(a) 天体観望会

科学館観望会

主に夜間のプラネタリウム上映に合わせ、科学館正面玄関前において天体望遠鏡を用いた観望会を行った。

【実績】3回 530名（前年度 8回 575名）

(b) 札幌市天文台公開

中島公園内にある札幌市天文台を公開し観望会を実施した。また、今年注目の火星大接近に合わせて火星観望会を開催した。

【実績】午前 244回 5,928名、午後 212回 5,977名、
夜間 49回 6,606名

（前年度 午前 305回 6,939名、
午後 259回 7,155名、夜間 60回 3,620名）

※ 5/7(月)～7/13(金)の期間教育委員会による外壁工事が実施されたため休台となった。



(c) 昼間の星を見よう！

毎週土曜日に科学館屋上天文台を公開し、金星等を観望した。なお、曇天・雨天時は、望遠鏡操作体験を実施した。

【実績】45回 710名（前年度 50回 750名）

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

イベント情報などを盛り込んだ「科学館ニュース」を毎月発行し、市内の幼稚園、小中学校に配布した。また、地域への広報強化の一環として、区役所や区民センターなどのコミュニティ施設や、図書館などの社会教育施設にも配布した。

【実績】12回 80,000部（前年度 12回 36,000部）

イ 利用者などの声を生かす取組み

(a) 利用者アンケートの実施

開館中に来館者に対して施設利用に関するアンケートを実施した。

【実績】2回 367名（前年度 2回 382名）

8/11(金・祝)～8/16(水)、1/6(日)～1/20(日)

(b) 科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者などからなる協議会を開催した。協議会では、特に事業の広報や地域連携について意見をいただいた。

【実績】3回（前年度 3回）

6/22(金)、11/13(火)、3/6(水)

(c) 小学校・中学校連絡会の開催

市内の小中学校との連携の推進及び学校利用の促進を図るとともに、当館の事

業の充実を図るために学校関係者との情報・意見交換を行った。

【実績】1/31(木)小学校連絡会 10名

2/5(火)中学校連絡会 9名

(d) 開館記念感謝デー（スペシャルサイエンスデー）の開催

例年、お祭り要素が強かった内容を見直し、講演会をメインに、これからの世界のために科学と科学技術の可能性を考えるイベントとした。国が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）をキーワードにしたことで、毎年行っているジオフェスティバルやサンピアザ水族館によるクイズ大会も含め、まとまりのある内容となった。



【実績】10/6(土)1,010名（前年度 4,107名）

(e) 「高校生の日」の開催

中高生が主体となるイベントの開催日に合わせて、高校生の展示室観覧料を免除し、若い世代がより気軽に科学に親しみ、興味を持つきっかけづくりとした。

【実績】10/6(土)24名 ジオフェスティバル・スペシャルサイエンスデー

12/1(土)19名 中高生によるサイエンス広場

3/9(土)58名 北海道インターナショナルサイエンスフェア

ウ 展示室年間パスポートの販売

有料利用者の利便性向上等のため、1年間展示室を何度でも利用できる年間パスポートを販売した。

【実績】販売枚数 1,138枚

収 1 物品販売等事業

(定款第4条第1項第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者等への便益提供を目的とした売店事業を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

札幌市生涯学習センターと札幌市青少年科学館の管理運営に附帯する事業として、来館者への便益提供を目的とした自動販売機事業を行った。

(3) 飲食店の運営

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、「Chie Terrace (ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン(株)に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

他 1 生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第1項第5・6号に掲げる事業)

(1) 施設の貸与

企業などの利用を含む公益目的以外の目的に対し、ちえりあホールや各種研修室などを貸与した。

(2) 駐車場管理業務

札幌市生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、利用者への便益提供を目的とした駐車場の管理運営を行った。

(3) 施設管理受託業務

札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、若者活動センター、リサイクルプラザの警備、清掃業務を札幌市から受託し、実施した。

平成30年度 管理運営施設利用状況

● 札幌市青少年科学館観覧者数

		平成30年度			前年度 (平成29年度)
		個人	団体	合計(人)	
展示室	大人	78,561	14,032	92,593	96,804
	小人	91,669	39,468	131,137	137,921
小計		170,230	53,500	223,730	234,725
プラネタリウム	大人	42,407	4,526	46,933	52,680
	小人	35,889	24,195	60,084	65,020
小計		78,296	28,721	107,017	117,700
合計		248,526	82,221	330,747	352,425
1日あたりの観覧者数 (人)		1,177			1,254

● 札幌市生涯学習センター貸室利用状況

項目		平成30年度	前年度対比	平成29年度
貸室(25室)	利用率 (%)	81.7%	99.2%	82.4%
	利用人数 (人)	505,405	118.8%	425,317
1日あたりの利用者数 (人)		1,456	118.8%	1,226

● メディアプラザ利用状況

項目	平成30年度	前年度対比	平成29年度
メディアプラザ利用人数 (人)	200,239	89.2%	224,371
一日あたりの利用者数 (人)	577	89.2%	647

● 視聴覚センター教材貸し出し状況(16ミリ・ビデオ教材・機材)

項目	平成30年度	前年度対比	平成29年度
貸出本数	1,233	65.5%	1,882
デジタルアーカイブス アクセス数	94,781	85.0%	111,448

● 平成30年度 管理運営施設利用状況

項目		平成30年度	前年度対比	前年度 (平成29年度)
ホール	利用率	72.9%	96.2%	75.8%
	利用人数	143,666	113.2%	126,913
講堂	利用率	69.7%	102.0%	68.3%
	利用人数	64,738	116.5%	55,572
大研修室	利用率	77.8%	103.9%	74.9%
	利用人数	41,407	123.9%	33,426
中研修室 1	利用率	78.1%	100.4%	77.8%
	利用人数	24,966	126.9%	19,679
中研修室 2	利用率	89.3%	100.3%	89.0%
	利用人数	26,515	125.8%	21,077
演劇スタジオ 1	利用率	98.3%	100.9%	97.4%
	利用人数	20,682	103.7%	19,945
演劇スタジオ 2	利用率	98.8%	100.0%	98.8%
	利用人数	11,021	130.0%	8,480
音楽スタジオ 1	利用率	94.8%	100.3%	94.5%
	利用人数	8,223	117.0%	7,027
音楽スタジオ 2	利用率	96.0%	98.9%	97.1%
	利用人数	9,622	116.3%	8,273
映像スタジオ	利用率	81.3%	100.4%	81.0%
	利用人数	16,088	151.7%	10,606

● メディアプラザ音楽・映像教材保有数

	CD	LP	SP	LD	VHS	DVD	合計
保有数	12,520	8,762	1,946	1,884	192	1,264	26,568
うち新着数	39	0	0	0	0	12	51

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 6 月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団